

セミナー速報 関西乳腺エコーセミナー

『マルチモダリティにおける超音波検査の役割』



2023年2月11日(土)、関西乳腺エコーセミナーをWEB開催いたしました。
354名の方にご参加頂き、誠にありがとうございました。

多くのお客様のご要望を頂き、オンデマンド配信を行うこととなりました。

オンデマンド配信期間：2023年4月10日～5月10日

お申込URL：

<https://www.fujifilm.com/jp/ja/healthcare/events/9300>



奥野 敏隆先生
西神戸医療センター 乳腺外科部長

様々なモダリティがある中、**患者さんとコミュニケーション**をとりながらできるのが超音波のメリットですね。
Bモードだけでなく、簡便に**血流情報**、**硬さ情報**が得られるのは素晴らしいこと！

座長：奥野先生のコメントより

超音波 VS マンモグラフィ 徹底比較！

USとMMG

MMGで発見された石灰化がUSでなかなか見つからない！？
MMG撮影時と、超音波検査時の乳房の位置関係の差を意識することが大切！

ARIETTA 650 DeepInsightを導入してみた

フォーカスは、浅いところを見るときは上に、見直す時は下に合わせるなど頻繁に変更する。13MHzリアでフルフォーカスを使用すると、操作の手間が省け、検査時間短縮となる。画像においても深部までしっかりと描出可能。



東 純子先生
竹田乳腺クリニック (診療放射線技師)
マンモグラフィ精度管理中央委員会
マンモグラフィ撮影有資格技師
日本超音波医学会認定超音波検査士



eFocusing LITE (社内資料)

USで石灰化が見えることは重要！

MMGで発見された石灰化がUSでも同じように見ることが出来たら、US下で細胞診を行うことができる。

演者：東先生のコメントより

私の撮り方、読み方、書き方

シュツと持って・シャツと動かして・サツサツと確認

プローブの持ち方、当て方、走査経路を意識することでエコー画質を向上させ、観察漏れを防ぐ。

超音波ならではのリアルタイム性を活かし、プローブを動かしながら判読していくことが大切！

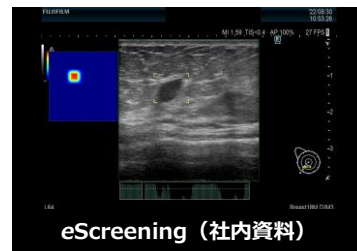
伝えたいことを明確にしたレポート作成

重視しているのは、場所、サイズ、性状(辺縁、形)。
事実は簡潔に、強調したい所見を明確に伝えるように。
迷ったら迷ったように正直に書くことが大切。

eScreeningを使ってみて

疑問に思うものが、eScreeningでも反応するとダブルチェックを頼みやすくなりますね。

演者：尾羽根先生のコメントより



eScreening (社内資料)

尾羽根 範員先生
住友病院 臨床検査科・超音波センター
日本超音波検査学会 (JSS) 理事長
日本乳がん検診精度管理中央機構 理事

